

ヨハネ第 17 章の主の祈りは彼の栄光を現すためであり、  
またキリストのからだとしての召会の一のためである

聖書：ヨハネ 17:1-24

I. ヨハネ第 17 章の主の祈りは、三一の神の栄光を現すこと、現れ、表現のためでした。

神の永遠の定められた御旨は、ご自身を現し、表現することです——ヨハネ 17:1-5.

創 1:26. エペソ 3:8-11 :

- A. キリストは唯一の麦粒であり、神聖な命と神聖な栄光を含んでいました。彼の人性の殻が彼の十字架を通して砕かれたとき、彼の神性のすべての要素（彼の神聖な命と神聖な栄光）が解き放たれました——ヨハネ 12:24 :
1. キリストの神性の栄光を解き放つことは、ご自身を人の中へと解き放って、命の火として地上で燃えることでした——ルカ 12:49-50。
  2. 七倍に強化された命を与える霊としてのキリストは今日、わたしたちの内側で燃える火です。わたしたちはこの火によって共にもたらされており、今やこの火が他の多くの人を燃やすようにとの負担を持っています——啓 4:5. 5:6. 参照、II テモテ 1:6-7. ローマ 12:11。
- B. キリストの神性の栄光を解き放つことは、彼が死を通して復活の中で、御父により神聖な栄光をもって栄光が現されることでした——ヨハネ 12:23-24. ルカ 24:46。
- C. キリストは、彼の御父が彼の栄光を現してくださるようにと祈り、御父は彼を復活させることによって彼の祈りに答えました。キリストの栄光が現されることは、彼が復活させられて命を与える霊と成ることでした——ヨハネ 17:1. 使徒 3:13-15. ヨハネ 7:39 後半. ルカ 24:46. I コリント 15:45 後半。
- D. キリストの栄光を現した結果は、宇宙的な合併を生み出して、三一の神を表現することでした。三一の神の唯一の属性は一、相互内在の一です——ヨハネ 14:10-11, 20. 17:21 :
1. 三一の神の三は永遠から合併されてきました。これが意味するのは、父、子、霊が互いに内在していること、すなわち、相互内在していることです—— 14:10-11。
  2. 究極的に完成された三一の神と再生された信者たちは、キリストの復活の中で合併となりました。これが意味するのは、子が父の中におり、わたしたちが子の中におり、子が霊としてわたしたちの中において、わたしたちを拡大された、神性と人性の合併とし、相互内在する三一の神と彼の一の中で相互内在し、彼の栄光を現すということです—— 20, 17 節. 17:11, 21。
- E. ヨハネ第 14 章から第 16 章の信者たちに対する主の最後の言葉において、この栄光の三つの具体的な表現があります。それは第 14 章 2 節における御父の家（召会）、第 15 章 1 節から 5 節における御子のぶどうの木（キリストのからだの構成要素）、第 16 章 21 節における新しく生まれた団体の人（新しい人）です :
1. この三はすべて召会を意味し、召会がキリストによって、彼の死と復活を通して生み出された栄光の拡張であることを見せています—— 12:23-24。
  2. この栄光の拡張において、神の御子キリストの栄光が現され、キリストの栄光が

現される中で父なる神の栄光が現される、すなわち、召会を通して完全に表現されるようにします——エペソ 3:19-21。

3. この表現は三一の神の一において維持される必要があります。ですから、主はヨハネ第 17 章における結びの祈りの中で、特にこの事柄のために祈りました。

## II. ヨハネ第 17 章の主の祈りは、キリストのからだとしての召会の一、すなわち三一の神にある信者たちの一のためでした :

### A. 第一層の一は、御父の御名の中の、御父の神聖な命による一です—— 6-13 節 :

1. 御父の御名は御父のパーソン、すなわち命の源、一の源としての御父ご自身を意味します—— 6, 11 節. 5:26, 43 :
  - a. わたしたちは御父を命と祝福の源としなければなりません——参照、マタイ 14:19. ローマ 11:36。
  - b. わたしたちは、わたしたちの人の命によって生きるのではなく、わたしたちの霊の中の御父の神聖な命によって生き、わたしたちのすべてを含む子たる身分を享受しなければなりません——ヨハネ 6:57. ローマ 8:15-16。
2. 御父の命と彼の性質は、一の要素です——ヨハネ 17:2. 参照、エペソ 1:4-5. ヘブル 2:10-11. I コリント 6:17。

### B. 第二層の一は、聖別する言葉の実際における一です——ヨハネ 17:14-21 :

1. 言葉は真理であり (17 節)、真理は三一の神です (14:6. I ヨハネ 5:6 後半)。言葉の実際によって聖別されるとは、三一の神ご自身によって聖別されることです。
2. 言葉は、真理であり、神の民をこの世から聖別し (ヨハネ 17:17)、彼らをこの世の支配者、あの邪悪な者から守ります (15 節) :
  - a. 御父の実際の言葉はわたしたちを聖別し、純粹にし、混乱したこの世から救い出して、わたしたちの神、純粹さの神へと分離します——参照、詩 12:6。
  - b. 人は神の言葉の中にいればいるほど、ますます純粹になります—— 119:140。
3. 御父の聖別する言葉はわたしたちの一の手段であり、わたしたちを一の領域へもたらします——ヨハネ 17:21. エペソ 5:26。

### C. 第三層の一は、神聖な栄光における、手順を経て、ミングリングされ、合併された三一の神を表現するための一です——ヨハネ 17:22-24 :

1. 神聖な栄光におけるすべての信者の一は、御父の命と性質を持つ表現された子たる身分における一です—— 22 節. 5:26。
2. 神の栄光は神の表現です。この神性の輝く表現は、わたしたちを自分自身から救い出し、わたしたちを完全に一とします——参照、啓 21:11。
3. 一のこの段階において、自己は完全に否まれます :
  - a. わたしたちは自分の自己から、野心、自己を高く上げること、意見、観念を含めて、救われなければなりません——ヨハネ 17:21-24. ローマ 5:10. I コリント 1:10-13. III ヨハネ 9 節。
  - b. わたしたちは自己を放棄し、自己を失い、霊に転向しようとするなら、直ちからだの実際の中にいます——エペソ 2:22. ヨハネ 16:13。
  - c. もし、わたしたちが自分の命と性質によって生きて、わたしたち自身を表現するなら、神の栄光はありません。わたしたち自身の表現には分裂があります。

d. 御父の命と御父の性質の中で生活し行動して御父を表現することは栄光であり、この栄光の中でわたしたちはみな一です。

4. わたしたちのクリスチャン生活は、「栄光から栄光」の生活であるべきです——II コリント 3:16-18。

III. わたしたちは、主がわたしたちに与えた一を強調し、絶えず三一の神とミングリングされる（こうして天然の人、この世とサタン、自己を無にする）ことによってその霊の一を守り、主の渴望を満足させる必要があります——エペソ 4:1-6。

© 2014 *Living Stream Ministry*